

記者発表資料

大阪経済記者クラブ会員各位

(社) 関西経済連合会
大阪商工会議所

「第36回経営・経済動向調査」結果について

関西経済連合会と大阪商工会議所は、会員企業の景気判断や企業経営の実態について把握するため、四半期ごとに標記調査を共同で実施している。今回は11月末から12月上旬に1,842社を対象に行い、うち508社から回答を得た(有効回答率27.6%)。

【調査結果の特徴】

1 国内景気について ~足下、7~9月期から横ばい。1~3月期は再び悪化の見込み

- 09年10~12月期の国内景気は、「上昇」との回答が16.0%、「下降」は32.8%。この結果、BSIは▲16.8と、前回調査(7~9月期▲16.6)からほぼ横ばい。
- 先行きは、10年1~3月期のBSIが▲23.6と再び悪化、4~6月期は▲5.4と改善の見込み。中小企業に厳しい見方が多い。

**2 自社業況について ~足下、7~9月期から改善。しかし1~3月期再び悪化の見込み
中小企業に厳しい見方が多い。**

- 09年10~12月期における自社の業況については「上昇」22.6%、「下降」36.9%。この結果、BSIは▲14.2と、前回調査(7~9月期▲24.4)からマイナス局面ながら改善。
- 先行きは、10年1~3月期のBSIは▲23.6と再び悪化、4~6月期は▲16.8と改善の見込み。
- 生産・売上高や、資金繰りでは、中小企業に厳しい見方が多い。
- 雇用の過剰感は大企業・中小企業ともに強い。

**3 2010年経営上の懸念事項について ~「政府の動向」がトップ
中小企業は「資金調達環境の悪化」がトップ**

- 2010年の経営上の懸念事項は、全体では「政府の動向(歳出抑制、増税、規制強化等)」が33.9%で最も多かった。
- 大企業は、「政府の動向」36.7%、「米国、ユーロ圏の景気低迷」30.7%の順、中小企業では「資金調達環境の悪化」35.0%、「政府の動向」32.0%の順。

4 足下、生産売上高の水準と回復見込みについて

- 世界的な景気悪化前の水準と比較した足下の生産サービス売上高水準は、「80~90%未満」22.6%、「70~80%未満」22.2%、「90~100%未満」20.3%。
- 回復見込みの時期は、「2011年度以降」24.0%、「2010年度下半期」22.0%の順。

以上

第36回経営・経済動向調査

(社)関西経済連合会
大阪商工会議所

目次

概要

1. 国内景気	2
2. 自社業況	
(1) 総合判断.....	3
(2) 個別判断.....	5
3. 2010年の経済見通しについて	
(1) 2010年3月末と12月末の日経平均株価について	9
(2) 2010年3月末と12月末の円/ドル為替レートについて	9
(3) 経営上における懸念事項について	10
4. 足下の生産サービス売上高の水準と回復見込みについて.....	11

概要

1. 調査対象

(社)関西経済連合会(甲種会員)・大阪商工会議所の会員企業 1,842社

2. 調査時期

2009年11月18日～12月1日(四半期ごとに実施)

3. 調査方法

調査票の発送・回収ともFAXによる

4. 回答状況

508社(うち大企業199社、中小企業309社)、有効回答率:27.6%

企業区分は中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。

製造業他:資本金3億円以下

卸売業:資本金1億円以下

小売業・サービス業:資本金5千万円以下

<今回の調査に関するお問い合わせ先>

(社)関西経済連合会 経済調査部 西村・田村

TEL:06-6441-0102

1. 国内景気・・・BSI(10～12月期)は▲16.8: 9期連続のマイナス、前回調査(9月 ▲16.6)からほぼ横ばいだが、先行き、2010年1～3月期(▲23.6)は悪化の見込み。

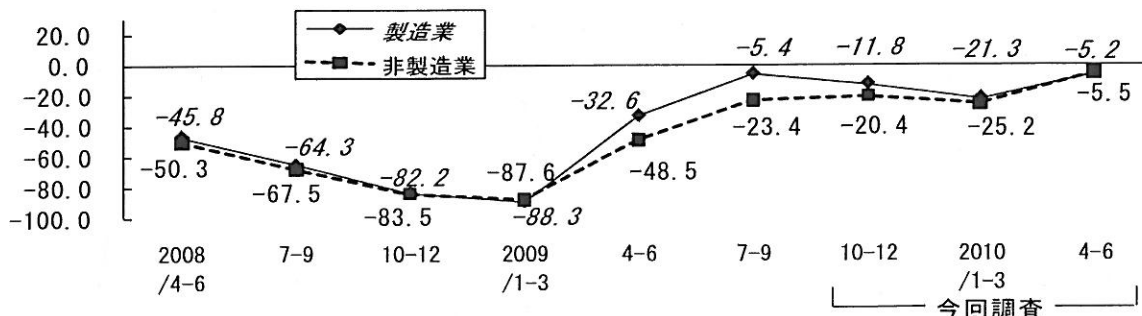
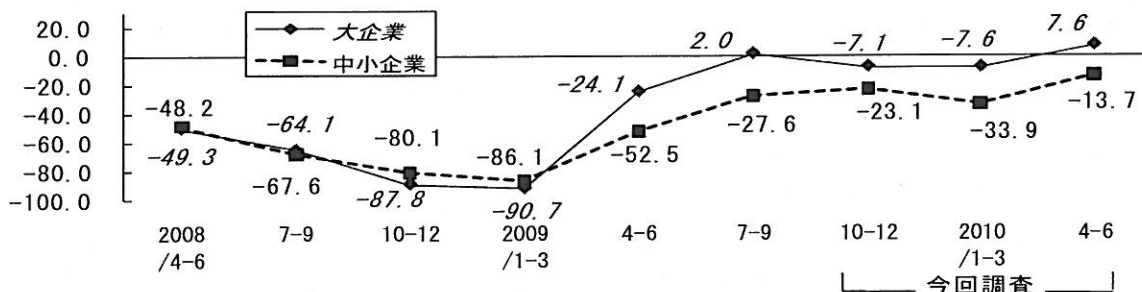
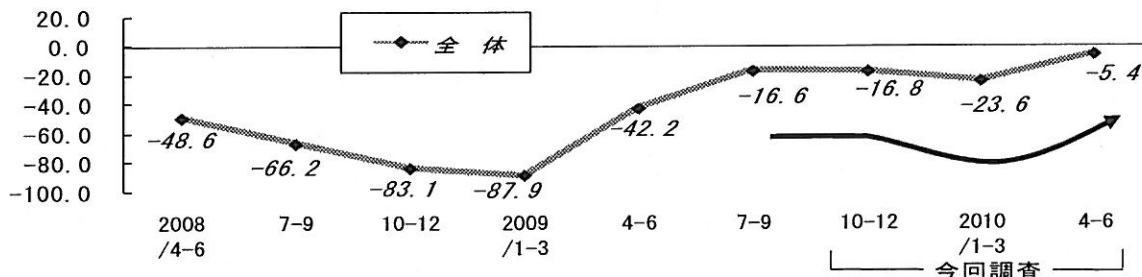
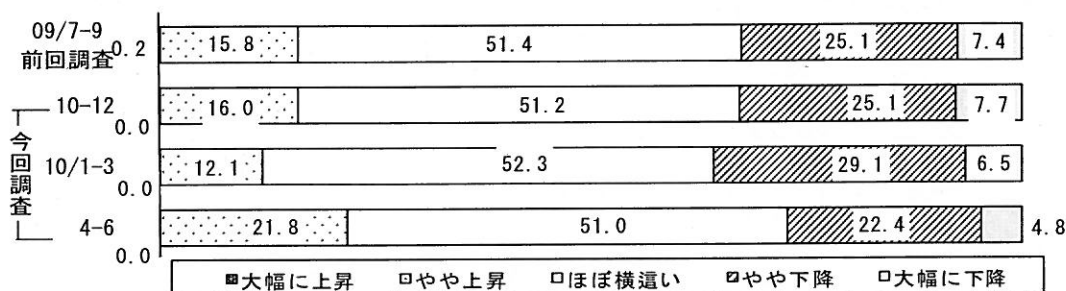
・2009年10～12月期における国内景気の実績見込みを「上昇」「大幅に上昇」「やや上昇」の合計、以下同じ)とみる回答は16.0%と、前回調査(7～9月期)の16.0%から横ばいであった。「下降」「大幅に下降」「やや下降」の合計、以下同じ)とみる回答は、32.8%となり、前回(7～9月期)の32.6%より0.2%ポイント悪化した。

以上の結果、BSI(「上昇」割合－「下降」割合、以下同じ)は▲16.8で、9期連続のマイナスとなり、前回(7～9月期)の▲16.6から0.2%ポイント悪化した。

先行きの見通しについては、2010年1～3月期のBSIは▲23.6、4～6月期は▲5.4と、1～3月期には足下水準より悪化し、4～6月期は改善するもののマイナス圏の見込み。

・規模別では、大企業の足下10～12月期のBSIは▲7.1で、2010年4～6月期にプラスに転じる見込み。中小企業の足下BSIは▲23.1で、先行きも厳しい見方が続く。

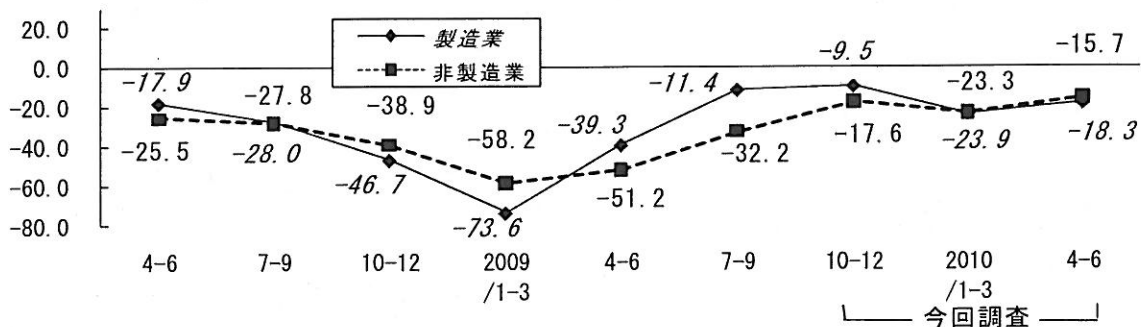
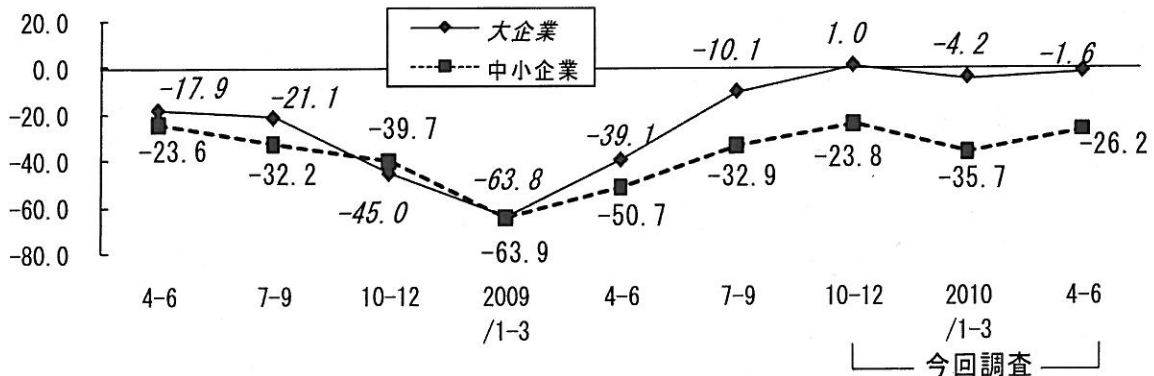
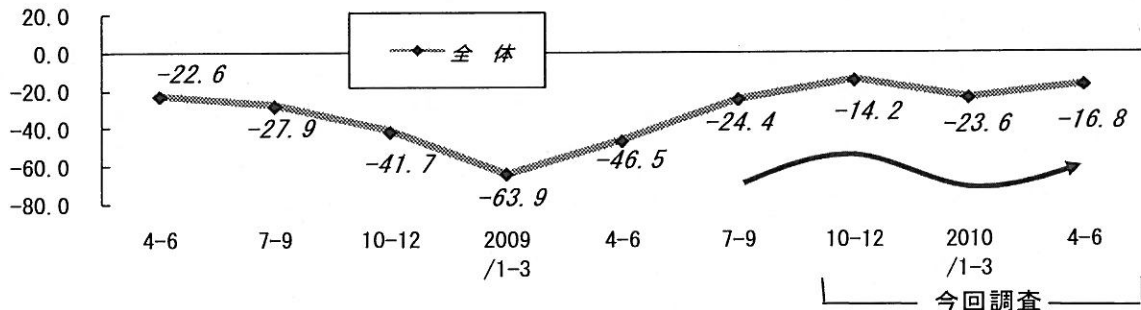
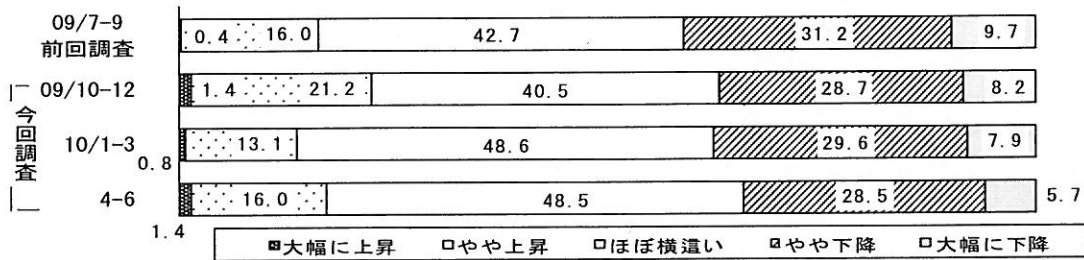
・業種別にみると、製造業の10～12月期のBSIが▲11.8、非製造業▲20.4と、前回(7～9月期)から製造業は低下、非製造業は上昇。先行きBSIについては、製造業、非製造業とも、2010年1～3月期に悪化した後、4～6月期に改善の見込み。



2. 自社業況

(1) 総合判断・・・BSI(10～12月期)は▲14.2:8期連続のマイナス。足下、前回調査(9月▲24.4)から改善したが、先行き、2010年1～3月期(▲23.6)は悪化の見込み。

- ・ 自社業況の総合判断は、10～12月期における実績見込みのBSIが▲14.2で、8期連続のマイナス。前回(7～9月)の▲24.4を10.2上回り、マイナス圏ではあるものの改善。
- ・ 先行きBSIは、2010年1～3月期が▲23.6と足下水準から低下し、4～6月期は▲16.8と、再び上昇するもののマイナス圏の見込み。
- ・ 規模別では、大企業の10～12月期BSIは1.0とプラスに転じているが、中小企業は▲23.8と厳しい見方。
- ・ 業種別にみると、10～12月期BSIは製造業が▲9.5、非製造業が▲17.6と、ともに前回(7～9月期)を上回った。先行きについては、製造業、非製造業とも1～3月期に低下し、4～6月に上昇するもののマイナス圏の見込み。



◎ 関経連・大阪商工会議所「経営・経済動向調査」 BSIの推移

回数・時期	国内景気			自社業況			
	足下	3ヵ月後	6ヵ月後	足下	3ヵ月後	6ヵ月後	
1	2001年3月	-56.4	-33.1	-9.8	-21.6	-17.7	-0.9
2	2001年6月	-44.2	-23.5	6.7	-31.7	-6.8	9.5
3	2001年9月	-78.6	-58.1	-37.7	-44.8	-27.9	-21.7
4	2001年12月	-69.8	-59.3	-26.8	-38.4	-30.9	-17.4
5	2002年3月	-66.1	-33.7	-11.5	-37.6	-20.1	-3.2
6	2002年6月	-7	6.4	31	-19.9	-2.5	15.6
7	2002年9月	-19	-4.4	2	-15.8	-5.5	-3.1
8	2002年12月	-39	-40.5	16.1	-7.9	-18.8	-10.8
9	2003年3月	-40.3	-26.7	-12.8	-16.9	-19.1	-7.2
10	2003年6月	-36	-26.1	-5	-25.1	-10.9	4.3
11	2003年9月	6.1	20.8	16.8	-5.2	13.2	7.8
12	2003年12月	27.1	16.6	27.5	12.3	3.5	6.6
13	2004年3月	30.7	37	32.9	5.5	8.1	13
14	2004年6月	40.5	34.6	35.6	6.8	18.3	22.3
15	2004年9月	35	29.3	15	14	15.2	5.7
16	2004年12月	13.5	-9.6	4.5	7.1	4.8	4.6
17	2005年3月	-10	5.5	15.7	-3	3.2	16.5
18	2005年6月	9.2	12.9	28.2	-1.1	11	19.9
19	2005年9月	24	27.6	23	4.1	18.8	16.8
20	2005年12月	47.5	38.8	36.3	16.9	20.5	13.9
21	2006年3月	40.7	46.5	39.8	14.3	15.4	19.9
22	2006年6月	41.1	39	30.6	7.4	20	25.1
23	2006年9月	35.3	34.5	18.7	8.4	22.7	14.4
24	2006年12月	30.2	15.5	15.6	20.7	13	12.8
25	2007年3月	20.4	29.7	24.9	7.3	16	20.9
26	2007年6月	15.1	19.8	22	-0.2	15.5	24.7
27	2007年9月	3.6	13.5	10.2	-1.2	11.6	12.1
28	2007年12月	-15.9	-22.1	-10.1	3.7	-2	-0.2
29	2008年3月	-43.9	-35.1	-18.8	-15.6	-12.9	-2.6
30	2008年6月	-48.6	-44.6	-32.4	-22.6	-17.5	-6.9
31	2008年9月	-66.2	-55.8	-42.2	-27.9	-17.7	-17.4
32	2008年12月	-83.1	-78.4	-56.9	-41.7	-42.4	-33.4
33	2009年3月	-87.9	-65.3	-39.2	-63.9	-52.6	-36.2
34	2009年6月	-42.2	-19.6	8.5	-46.5	-23	-1.3
35	2009年9月	-16.6	-5	1.7	-24.4	-11.1	-10.2
36	2009年12月	-16.8	-23.6	-5.4	-14.2	-23.6	-16.8
備考	・足下BSI値は、9期連続のマイナス ・10～12月期足下、1～3月期先行きとも、 前回(9月)調査時予測値を下回る。			・足下BSI値は、8期連続のマイナス ・10～12月期足下、1～3月期先行きとも、 前回(9月)調査時予測値を下回る。			

(2) 個別判断・・・前回調査(9月)と比べ足下(10～12月)実績見込は改善。

しかし、先行き、2010年1～3月期は一部悪化の見込み。

➤ 生産・売上高について

全体での10～12月期実績見込みは「減少」が34.5%となり、「増加」24.8%を上回ったが、足下、前期(7～9月期)実績見込みより改善している。先行きは、「減少」が「増加」を上回る。特に、2010年1～3月期、足下10～12月期より厳しい見方が多い。大企業、中小企業とも同じ見方だが、特に、中小企業において「減少」の回答が多い。

➤ 経常利益について

全体での10～12月期実績見込みは、「減少」が41.3%となり、「増加」21.2%を大きく上回ったが、足下、前期(7～9月期)実績見込みより若干改善している。先行きも「減少」が「増加」を上回り、厳しい見方が続く。規模別では、中小企業で、「減少」との回答が足下、先行きとも多い。

➤ 製・商品の価格について

全体での10～12月期実績見込みは、「下降」が30.6%と、「上昇」3.8%を大きく上回った。また、前回調査時(10～12月期「下降」21.6%)予測より、「下降」との回答が増加している。先行きについても「下降」が「上昇」を上回る。

➤ 雇用判断について

全体での10～12月期実績見込みは「過剰」が23.5%と、「不足」5.2%を大きく上回る。先行きも、「ほぼ適正」が7割を超えるものの、「過剰」が2010年1～3月期23.1%、4～6月期21.4%と、過剰感の高い状態が続く。大企業、中小企業とも同じ見方である。

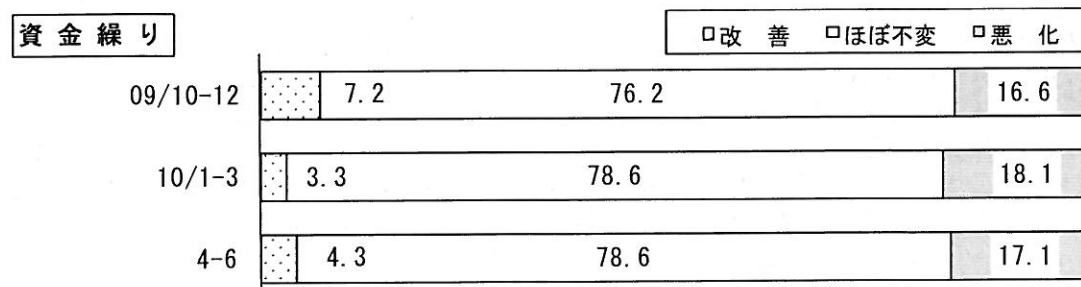
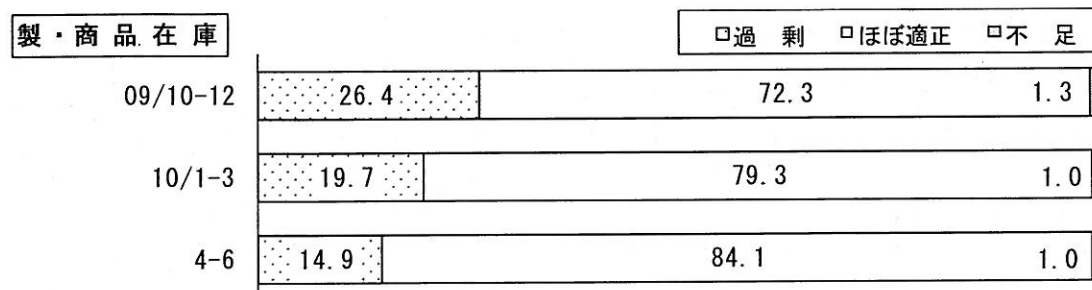
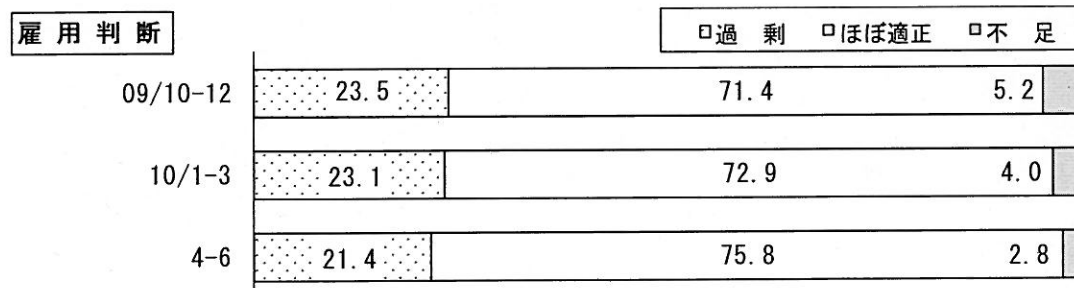
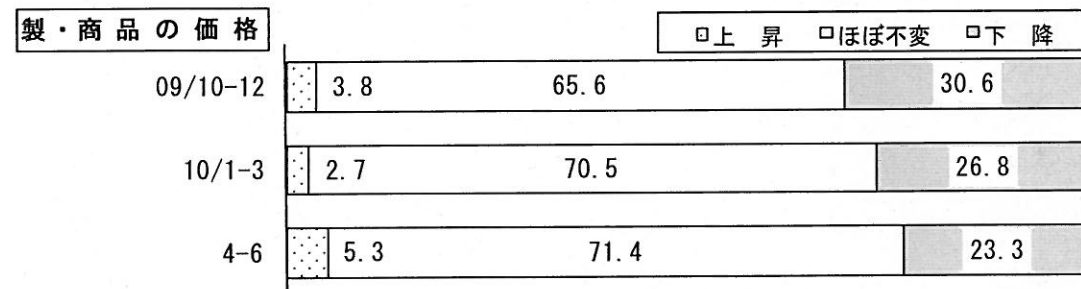
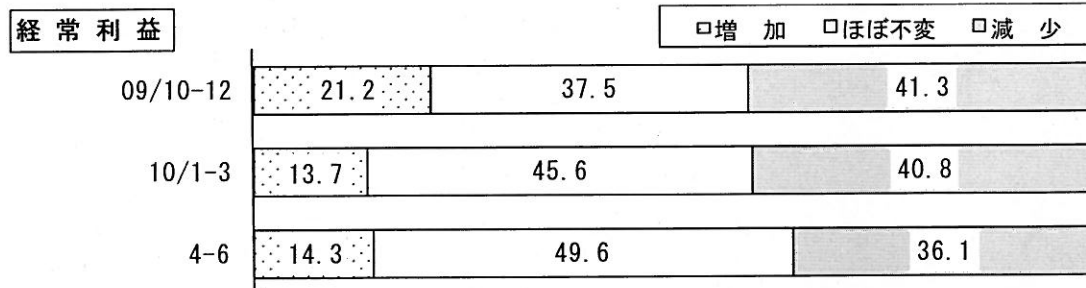
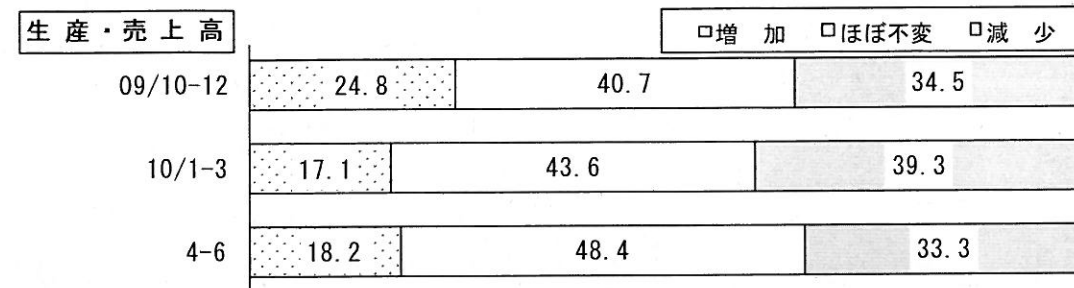
➤ 製・商品在庫について

全体での10～12月期実績見込みは「過剰」26.4%が「不足」1.3%を大きく上回る。また、前回調査時(10～12月期予測「過剰」15.1%)より、「過剰」との回答が多い。先行きは、「ほぼ適正」とする回答が増加し、過剰感は和らぐ見込み。規模別では、中小企業の方が過剰感が高いが、先行きは、大企業、中小企業とも過剰感は和らぐ見込み。

➤ 資金繰りについて

全体での10～12月期実績見込みは、「悪化」が16.6%、「改善」が7.2%と「悪化」が「改善」を上回るが、「ほぼ不変」も76.2%を占める。先行きも同様の見方となっている。大企業では足下、先行きとも、「ほぼ不変」との回答が8割を超える。中小企業では、「悪化」が「改善」を上回り、引き続き厳しい見方が続く。

全体集計結果



大企業結果

生産・売上高		□増加 □ほぼ不変 □減少		
09/10-12	31.1	45.9	23.0	
10/1-3	24.2	48.9	26.9	
4-6	22.8	50.6	26.7	

経常利益		□増加 □ほぼ不変 □減少		
09/10-12	27.7	42.1	30.3	
10/1-3	21.1	49.0	29.9	
4-6	20.2	52.3	27.5	

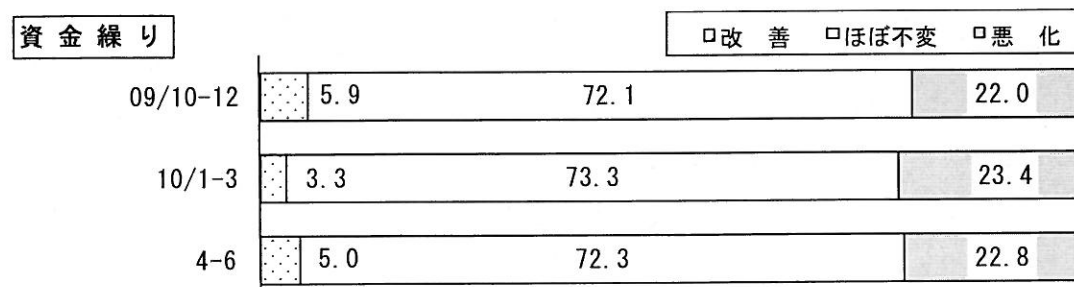
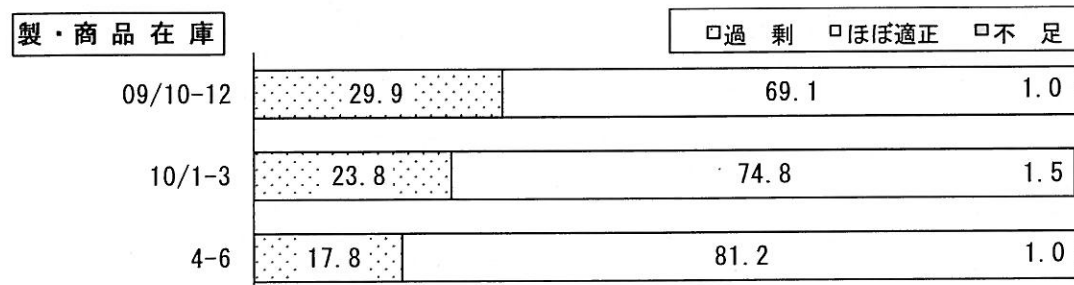
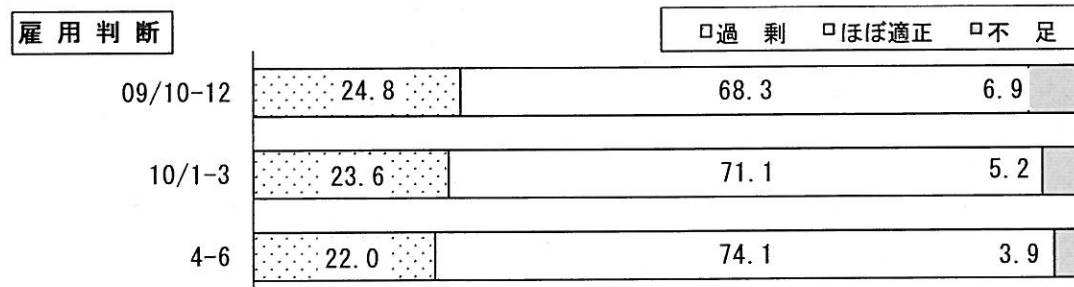
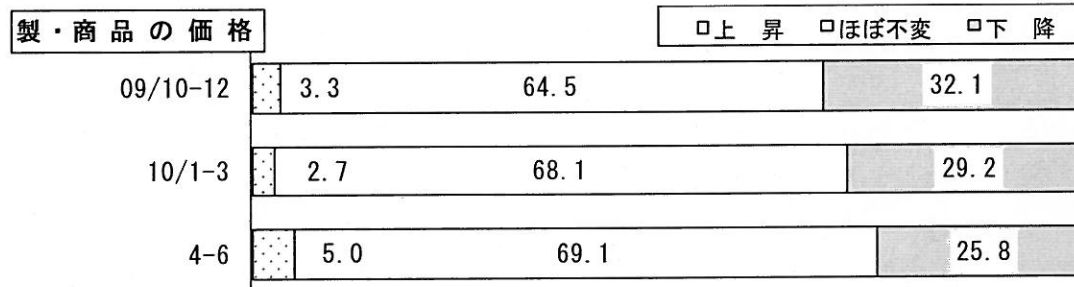
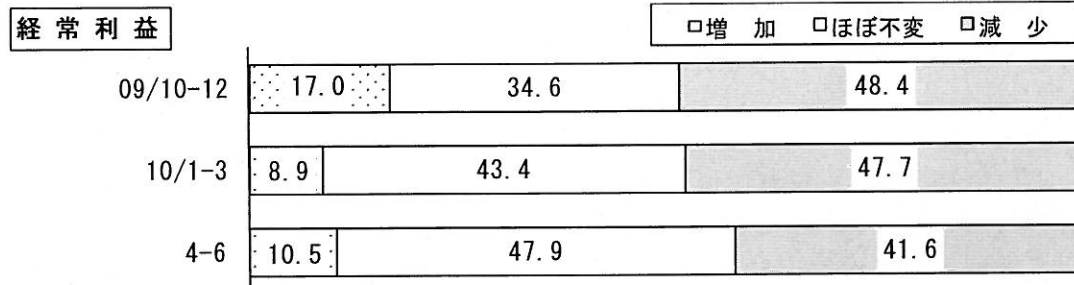
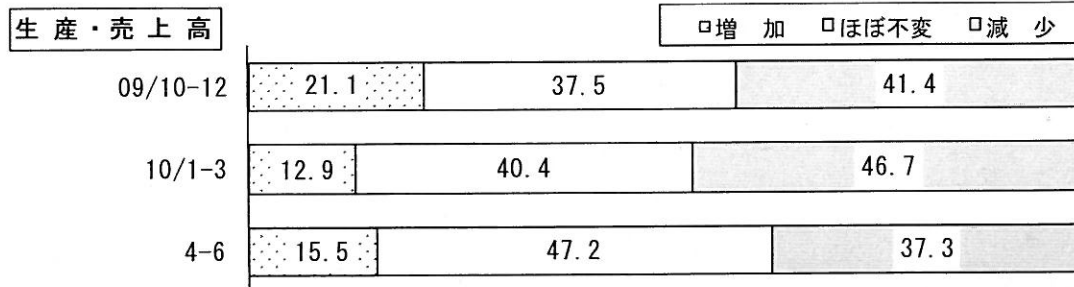
製・商品の価格		□上昇 □ほぼ不変 □下降		
09/10-12	4.4	67.4	28.2	
10/1-3	2.8	74.4	22.8	
4-6	5.6	75.3	19.1	

雇用判断		□過剰 □ほぼ適正 □不足		
09/10-12	21.3	76.1	2.5	
10/1-3	22.3	75.6	2.0	
4-6	20.4	78.6	1.0	

製・商品在庫		□過剰 □ほぼ適正 □不足		
09/10-12	19.6	78.5	1.9	
10/1-3	12.1	87.9	0.0	
4-6	9.3	89.7	0.9	

資金繰り		□改善 □ほぼ不変 □悪化		
09/10-12	9.3	83.0	7.7	
10/1-3	3.3	87.4	9.3	
4-6	3.3	89.1	7.7	

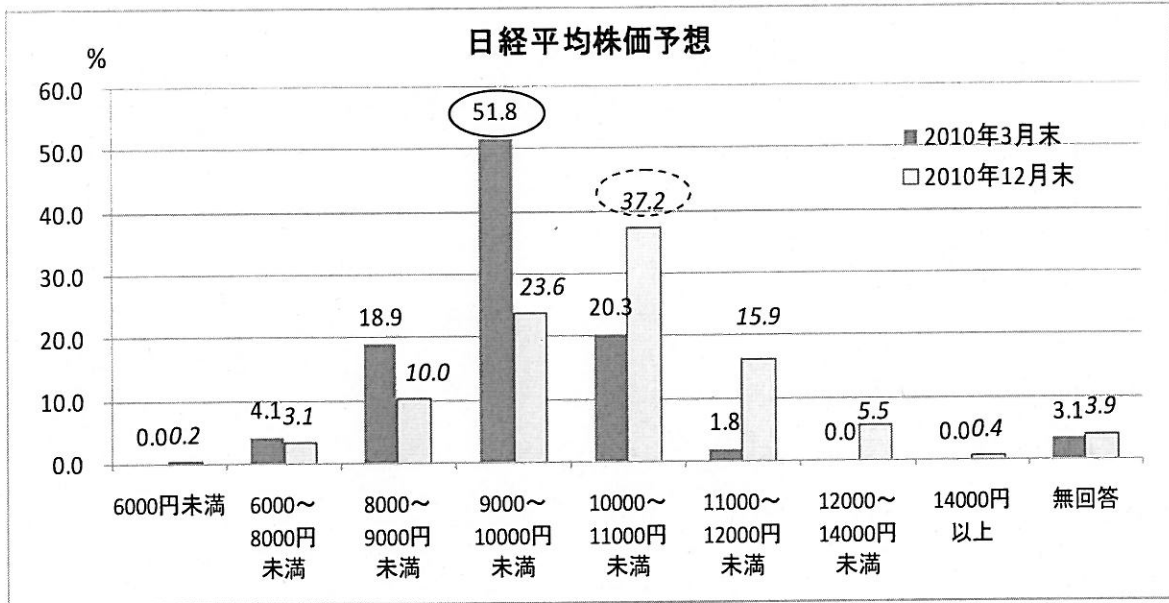
中小企業結果



3. 2010年の経済の見通しについて

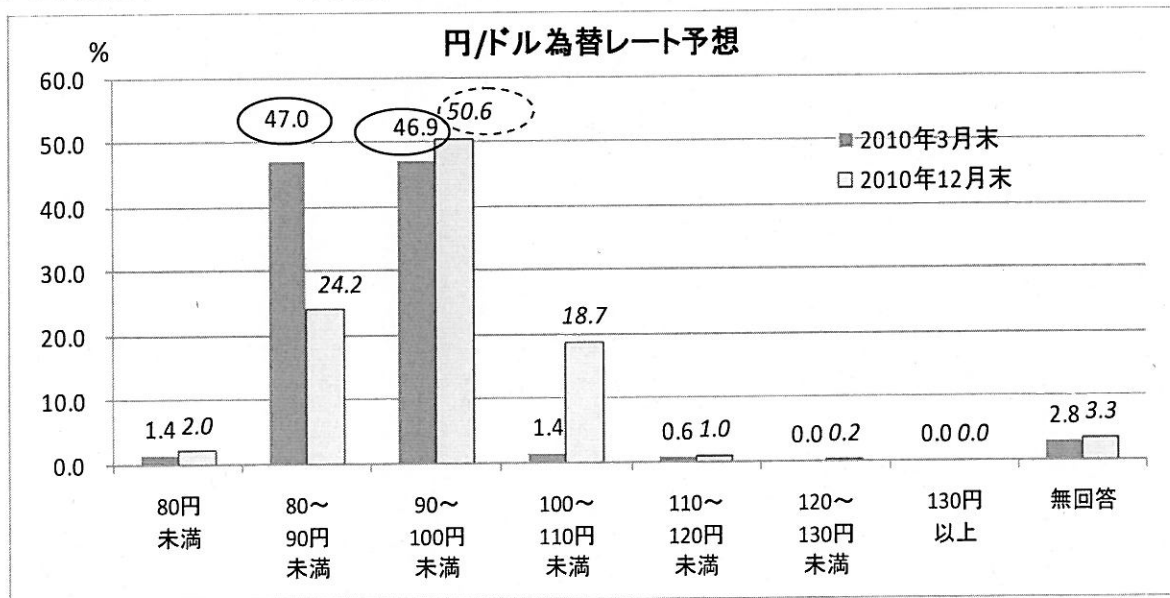
(1) 2010年3月末及び、2010年12月末の日経平均株価予想

2010年3月末は、「9000～10000円未満」(51.8%)との回答が最も多く、次に「10000～11000円未満」(20.3%)、「8000～9000円未満」(18.9%)が続く。2010年12月末では、「10000～11000円未満」(37.2%)、「9000～10000円未満」(23.6%)の順。



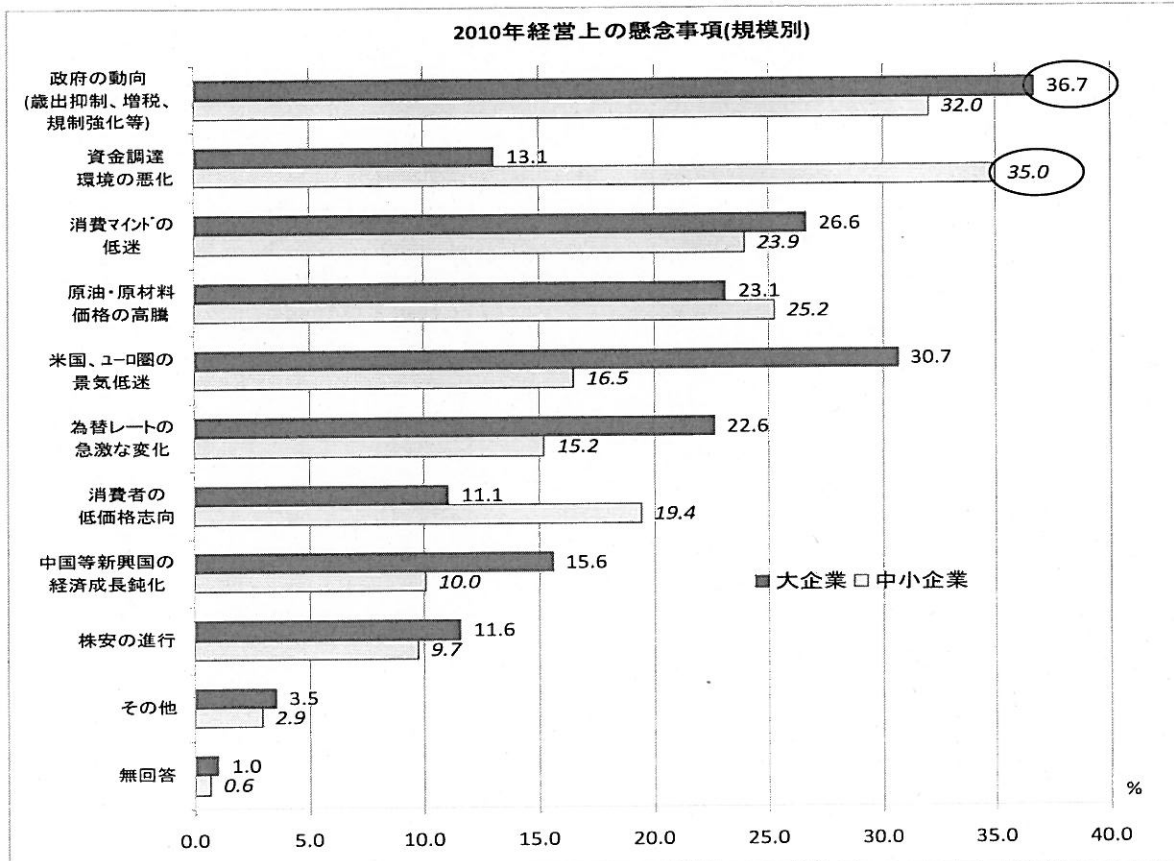
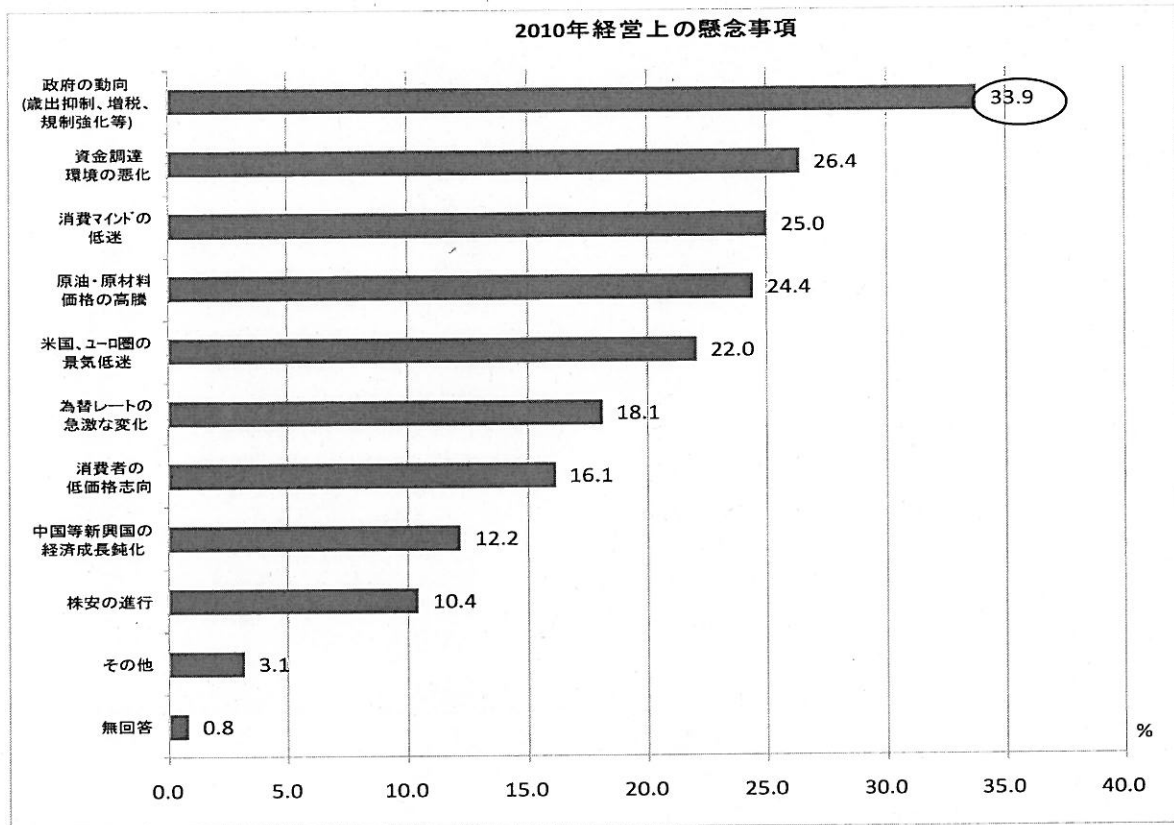
(2) 2010年3月末及び、2010年12月末の円/ドル為替レート予想

2010年3月末は、「80～90円未満」(47.0%)、「90～100円未満」(46.9%)との回答が多い。2010年12月末は、「90～100円未満」(50.6%)が最も多く、次に「80～90円未満」(24.2%)が続く。



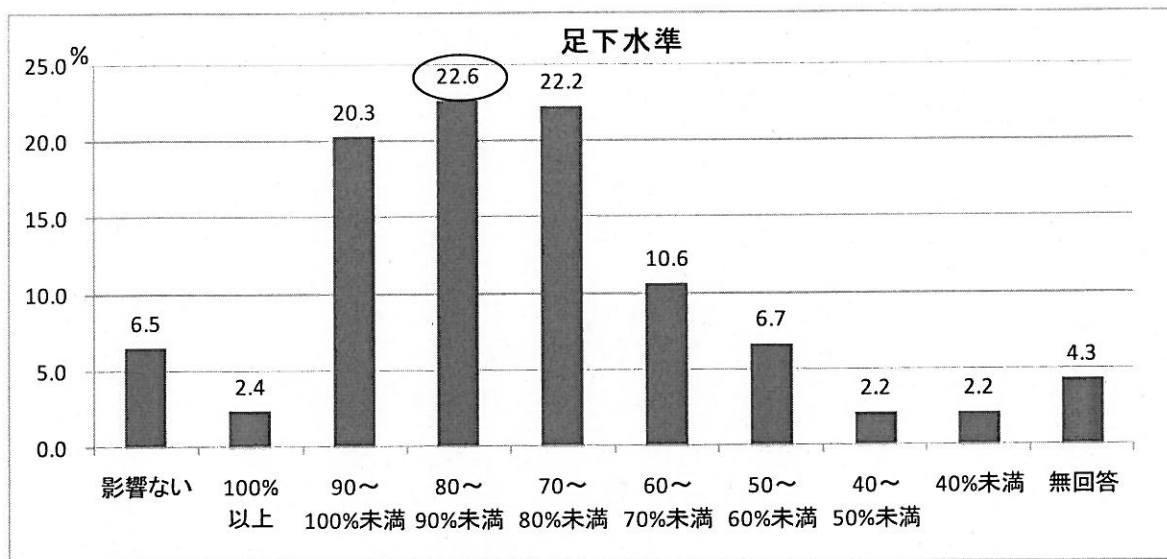
(3) 来年1年間の経営上の懸念事項(3つ選択)

「政府の動向(歳出抑制、増税、規制強化等)」との回答が最も多く、次に「資金調達環境の悪化」、「消費マインドの低迷」、「原油・原材料価格の高騰」が続く。規模別では、大企業で「政府の動向(歳出抑制、増税、規制強化等)」が最も多く、次に「米国ユーロ圏の景気低迷」が続くが、中小企業では「資金調達環境の悪化」が最も多い。



4. 足下の生産サービス売上高の水準と回復見込みについて

2008年7-9月期頃(世界的な景気悪化前)と比較した足下水準について、「80～90%未満」(22.6%)、「70～80%未満」(22.2%)、「90～100%未満」(20.3%)との回答が多い。



2008年7-9月期頃(世界的な景気悪化前)の水準への回復見込みの時期は、「2011年度以降」(24.0%)、「2010年度下半期」(22.0%)、との回答が多い。また、「わからない」も18.9%を占める。

